

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

弊社では皆様のご要望にお応えし、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますがこの度、新規保険収載項目の検査受託を開始致します。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

新規受託項目

- 3396 HBVゲノタイプ(EIA)

検査要項

検査項目名	HBVゲノタイプ(EIA)
項目コードNo.	3396
検体量	血清0.5 mL
採血容器	容器番号01:汎用容器(分離剤入り)
検査方法	EIA
基準値(単位)	
所要日数	3~9日
検査実施料	340点(「D013」肝炎ウイルス検査の11)
検査判断料	144点(免疫学的検査)
備考	HBs抗原量の少ない検体は、判定保留となる場合があります。

受託開始日

- 平成 23年6月22日(水) 受付日分より

※裏面をご覧ください

● HBVゲノタイプ

B型肝炎ウイルス（HBV）の遺伝子型（ゲノタイプA、B、C、D）をEIAにより判別します。
B型肝炎の予後予測・治療効果予測のための情報として期待されています。

B型肝炎ウイルス（HBV）は、その遺伝子配列の違いによりA～Hの8つの遺伝子型（ゲノタイプ）に分類され、その分布には地域特異性がみられます。日本では、東アジアに多く分布しているB、C型を中心に、A～Dの4つの型がほとんどを占めており、その他の遺伝子型は極めて稀な症例です。

近年、欧米に多いA型の割合が増加していますが、このA型は他の遺伝子型に比べて急性肝炎後に慢性化する傾向が高く、治療介入が重要であるとされています。また、HBVゲノタイプの違いにより、インターフェロンの治療効果や肝癌への進展、重症度など臨床像が異なることが判明してきました。

HBVゲノタイプの判別は、B型肝炎の予後予測や治療方法の選択に有用な情報として期待されています。

疾患との関連	関連する主な検査項目
● B型肝炎	● HBs抗原 ● HBe抗原 ● HBV DNA ● HBe抗体

診療報酬算定条件

ア HBVゲノタイプ判定は、「11」のHCV特異抗体価に準じて算定する。

イ EIA法により、B型肝炎の診断が確定した患者に対して、B型肝炎の治療法の選択の目的で実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定できる。

▼参考文献

田中 靖人, 他 : 臨床病理57 (1) :42~47, 2009.(検査方法参考文献)
Etsuro Orito, et al:Hepatology 34:590~594, 2001.